

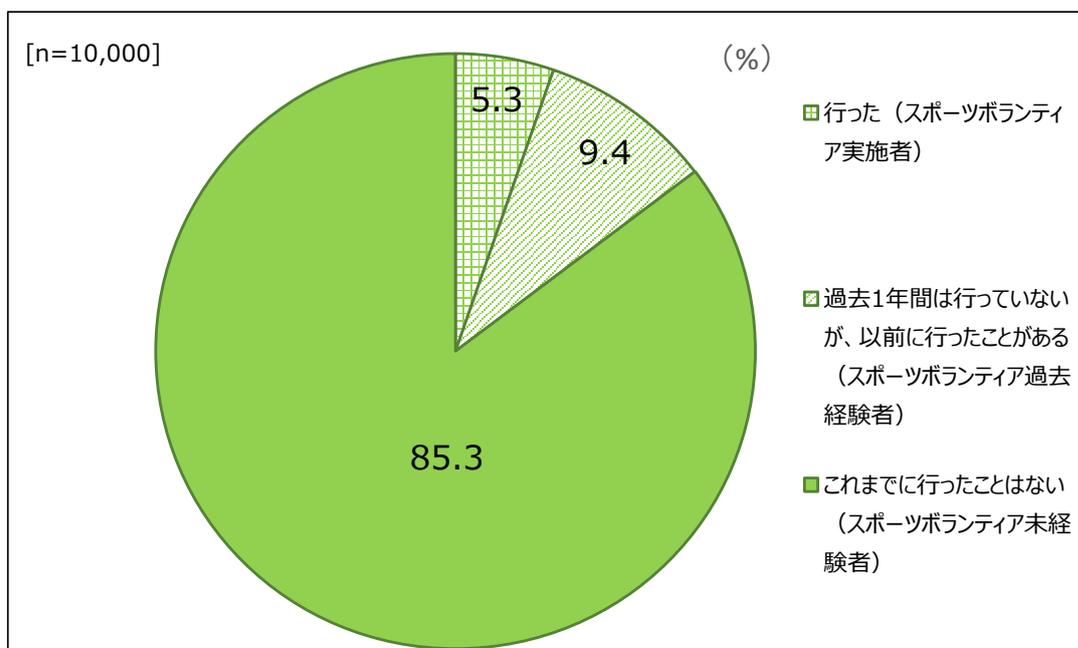
## 2. 調査結果

### 1) スポーツボランティア実施状況

過去1年間のスポーツボランティア実施状況についてたずねた。過去1年間にスポーツボランティア活動を「行った」者（スポーツボランティア実施者）は5.3%、「以前に行ったことがあるが、過去1年間には行っていない」者（スポーツボランティア過去経験者）は9.4%、「これまでに行ったことはない」者（スポーツボランティア未経験者）は85.3%であった（図表1）。

**図表1 過去1年間のスポーツボランティア実施状況**

あなたは、過去1年間に何らかのスポーツにかかわるボランティア活動を行いましたか。（1つ選択）



性別にみると、男性ではスポーツボランティア実施者が7.1%、スポーツボランティア過去経験者が11.1%であるのに対し、女性では実施者3.6%、過去経験者7.7%となっており、スポーツボランティアの実施者、過去経験者は男性が女性より多い（図表2）。性・年代別にみると、スポーツボランティア実施者は、男性で20代、40代、女性で20代、60代が多く、スポーツボランティア過去経験者は、男性で20代、50代、60代、女性で20代、60代が多くなっている。

**図表2 過去1年間のスポーツボランティア実施状況（性・年代別）**

あなたは、過去1年間に何らかのスポーツにかかわるボランティア活動を行いましたか。（1つ選択）  
（%）

	実施者（スポーツボランティア）	過去1年間に経験したことがある（過去1年間に経験したことがある）	これまで実施したことはない
全体(n=10,000)	<b>5.3</b>	<b>9.4</b>	<b>85.3</b>
男性全体(n=5,020)	<b>7.1</b>	<b>11.1</b>	<b>81.9</b>
男性20代(n=796)	10.9	12.7	76.4
男性30代(n=966)	6.8	8.3	84.9
男性40代(n=1,189)	7.1	9.8	83.0
男性50代(n=956)	5.3	12.0	82.6
男性60代(n=1,113)	5.8	12.9	81.2
女性全体(n=4,980)	<b>3.6</b>	<b>7.7</b>	<b>88.8</b>
女性20代(n=756)	4.5	8.5	87.0
女性30代(n=937)	3.6	7.0	89.3
女性40代(n=1,162)	3.0	6.6	90.4
女性50代(n=956)	2.5	6.6	90.9
女性60代(n=1,169)	4.4	9.6	86.1

## 2) スポーツボランティア活動の内容

過去1年間にスポーツボランティア活動を「行った」者（スポーツボランティア実施者）と、「以前に行ったことがあるが、過去1年間には行っていない」者（スポーツボランティア過去経験者）に、具体的な活動内容をたずねた。

スポーツボランティア実施者とスポーツボランティア過去経験者がこれまでに行ったことがある活動で最も多いのは、「【地域のスポーツイベント】大会・イベントの運営や世話」の43.1%で、以下、「【日常的な活動】団体・クラブの運営や世話」（30.3%）、「【日常的な活動】スポーツの指導」（26.1%）が続く（図表3）。

スポーツボランティア実施者が過去1年間に行った活動では、「【地域のスポーツイベント】大会・イベントの運営や世話」が39.3%で最も多く、以下、「【日常的な活動】スポーツの指導」（29.3%）、「【日常的な活動】団体・クラブの運営や世話」（25.0%）の順となっている。

過去1年間のスポーツボランティア活動の平均実施回数をみると、最も多いのは、「【日常的な活動】スポーツの指導」の20.5回で、以下、「【日常的な活動】団体・クラブの運営や世話」（15.7回）、「【日常的な活動】スポーツの審判」（10.1回）が続く。実施者が最も多かった「【地域のスポーツイベント】大会・イベントの運営や世話」は3.3回、「【全国・国際的スポーツイベント】大会・イベントの運営や世話」は1.7回であり、スポーツイベントのボランティアは、多くの人にとって、年1～数回の限られた機会であることがわかる。

**図表3 スポーツボランティア実施者および過去経験者の活動内容別実施状況**

これまでに/過去1年間にあなたが行ったことのあるスポーツボランティア活動は何ですか。（それぞれ複数選択可）

ボランティア活動の内容	スポーツボランティア過去経験者+実施者	スポーツボランティア実施者	
	これまでに 行ったことがある活動 n=1471	過去1年間に 行った活動 n=532	平均実施回数
【日常的な活動】スポーツの指導	26.1%	29.3%	20.5回
【日常的な活動】スポーツの審判	21.7%	17.9%	10.1回
【日常的な活動】団体・クラブの運営や世話	30.3%	25.0%	15.7回
【日常的な活動】スポーツ施設の管理の手伝い	25.3%	18.6%	5.8回
【地域のスポーツイベント】スポーツの審判	15.5%	12.2%	5.9回
【地域のスポーツイベント】大会・イベントの運営や世話	43.1%	39.3%	3.3回
【全国・国際的スポーツイベント】スポーツの審判	3.1%	1.7%	5.2回
【全国・国際的スポーツイベント】大会・イベントの運営や世話	16.0%	13.3%	1.7回
その他	1.6%	1.1%	6.3回

スポーツボランティア実施者とスポーツボランティア過去経験者がこれまでに行ったことがある活動を性別にみると、「【日常的な活動】スポーツの指導」、「【日常的な活動】スポーツの審判」、「【地域のスポーツイベント】スポーツの審判」において、男性の割合が女性の2倍以上となっている（図表4）。一方、「【地域のスポーツイベント】大会・イベントの運営や世話」では、男性38.9%に対して女性50.0%と女性の割合が大きく、活動内容により実施経験に男女差がみられる。

性・年代別にみると、男性では、「【日常的な活動】スポーツの指導」は20代、30代が多く、「【日常的な活動】団体・クラブの運営や世話」と「【地域のスポーツイベント】大会・イベントの運営や世話」は、40代～60代が多かった。また、女性では、「【日常的な活動】団体・クラブの運営や世話」と「【地域のスポーツイベント】大会・イベントの運営や世話」において、50代、60代の活動経験者が多くなっている。

**図表4 スポーツボランティア実施者および経験者の活動内容別実施状況**  
**（これまでに行ったことがある活動：性・年代別）**

これまでにならぬ過去1年間にあなたが行ったことのあるスポーツボランティア活動は何ですか。（それぞれ複数選択可）

	の（「日常的な活動」スポーツの指導）	の（「日常的な活動」スポーツの審判）	ラ（「日常的な活動」団体・クラブの運営や世話）	施（「日常的な活動」スポーツの管理の手伝い）	ト（「地域のスポーツイベント」スポーツの審判）	や（「地域のスポーツイベント」大会・イベントの運営や世話）	ベ（「全国・国際」スポーツの審判）	運（「全国・国際」大会・イベントの運営や世話）	そ（その他）
全体(n=1,471)	26.1	21.7	30.3	25.3	15.5	43.1	3.1	16.0	1.6
男性(n=911)	33.7	28.5	30.4	25.2	20.1	38.9	3.8	14.7	1.2
男性20代(n=188)	36.7	29.3	24.5	25.0	25.0	27.7	6.4	12.8	2.1
男性30代(n=146)	37.7	24.0	24.0	27.4	13.0	29.5	4.8	14.4	1.4
男性40代(n=202)	30.7	28.2	33.7	28.7	16.3	46.5	2.5	17.8	1.0
男性50代(n=166)	33.1	33.7	35.5	24.7	22.3	41.0	3.0	15.7	0.6
男性60代(n=209)	31.6	27.3	33.0	21.1	22.5	46.4	2.9	12.9	1.0
女性(n=560)	13.8	10.5	30.2	25.4	8.0	50.0	2.0	18.2	2.1
女性20代(n=98)	22.4	21.4	18.4	19.4	10.2	37.8	3.1	13.3	0.0
女性30代(n=100)	16.0	8.0	23.0	29.0	6.0	41.0	1.0	20.0	2.0
女性40代(n=112)	10.7	8.0	30.4	25.9	4.5	47.3	0.0	23.2	3.6
女性50代(n=87)	12.6	11.5	41.4	29.9	16.1	60.9	4.6	23.0	1.1
女性60代(n=163)	9.8	6.7	35.6	23.9	6.1	58.9	1.8	14.1	3.1

### 3) スポーツ以外のボランティアの実施状況

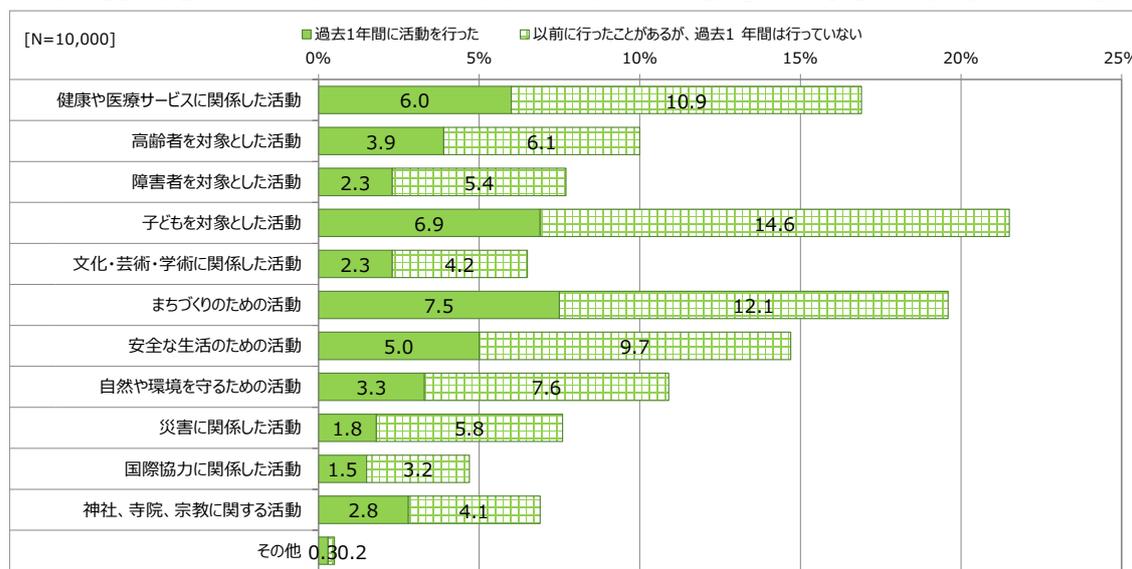
過去1年間のスポーツ以外のボランティア活動の有無について、活動内容別にたずねた。活動分類は、総務省「社会生活基本調査」の調査票の10項目をもとに、その一つである「スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動」からスポーツを除き、「文化・芸術・学術に関係した活動」に変更したほか、「寺院・神社・宗教に関する活動」を加えた11項目とした。

過去1年間に行った活動で最も多いのは、「まちづくりのための活動」の7.5%で、以下、「子どもを対象とした活動」(6.9%)、「健康や医療サービスに関係した活動」(6.0%)、「安全な生活のための活動」(5.0%)、「高齢者を対象とした活動」(3.9%)などの順となっている(図表5)。2016年の社会生活基本調査(10歳以上が対象)では、「まちづくりのための活動」(11.3%)、「子どもを対象とした活動」(8.4%)、「安全な生活のための活動」(5.0%)、「自然や環境を守るための活動」(4.0%)、「高齢者を対象とした活動」(3.8%)が上位であり、今回の調査に比べ、「まちづくりのための活動」の実施率が高い他、上位の内容に若干の違いがみられる。

スポーツ以外のボランティア活動を、「以前に行ったことがあるが、過去1年間には行ってない」と回答したボランティア過去経験者についてみると、最も多いのは「子どもを対象とした活動」(14.6%)で、以下、「まちづくりのための活動」(12.1%)、「健康や医療サービスに関係した活動」(10.9%)などが続く。

**図表5 スポーツ以外のボランティア活動の実施状況**

あなたは、過去1年間に、以下に示すスポーツ以外のボランティア活動を行いましたか。(それぞれ1つずつ選択)



スポーツ以外のボランティア活動の実施状況を性別にみると、過去1年間に行った活動では、「子どもを対象とした活動」と「高齢者を対象とした活動」を除いて、男性の割合が女性よりも大きい（図表6）。「子どもを対象とした活動」について、実施者と過去経験者を合わせた割合をみると、男性17.8%に対し、女性25.1%となっている。保護者の立場で、男性に比べて多くの女性が子どもに関するボランティア活動をしていると推察される。

性・年代別にみると、男性では、「健康や医療サービスに関係した活動」、「高齢者を対象とした活動」、「障害者を対象とした活動」は20代が多く、「まちづくりのための活動」、「安全な生活のための活動」は50代、60代が多くなっている。女性では、「高齢者を対象とした活動」と「まちづくりのための活動」は60代が特に多い。また、「子どもを対象とした活動」をみると、過去1年間の実施者は30代、40代で多く、実施者と過去経験者を合わせた活動経験者は、30代19.2%、40代25.8%、50代28.6%、60代32.9%と、年代が上がるにつれて多くなっている。

図表6 スポーツ以外のボランティア活動の実施状況（性・年代別）

あなたは、過去1年間に、以下に示すスポーツ以外のボランティア活動を行いましたか。（それぞれ1つずつ選択）  
（%）

活動内容	健康や医療サービスに関係した活動		高齢者を対象とした活動		障害者を対象とした活動		子どもを対象とした活動		文化・芸術・学術に関係した活動		まちづくりのための活動	
	行った	行ったが以前に比べて、過去1年間とは	行った	行ったが以前に比べて、過去1年間とは	行った	行ったが以前に比べて、過去1年間とは	行った	行ったが以前に比べて、過去1年間とは	行った	行ったが以前に比べて、過去1年間とは	行った	行ったが以前に比べて、過去1年間とは
全体 (n=10,000)	6.0	10.9	3.9	6.1	2.3	5.4	6.9	14.6	2.3	4.2	7.5	12.1
男性全体 (n=5,020)	7.4	10.6	3.8	5.6	2.6	5.0	6.2	11.6	2.6	4.2	8.5	12.2
男性20代 (n=796)	10.2	10.9	4.8	8.2	4.4	7.2	7.0	8.7	3.6	5.8	6.3	14.7
男性30代 (n=966)	9.7	7.6	4.3	5.0	3.0	4.7	5.1	7.8	2.4	3.9	6.2	8.4
男性40代 (n=1,189)	7.0	10.4	3.7	5.1	2.1	5.2	6.9	9.0	2.9	3.2	7.1	9.9
男性50代 (n=956)	7.2	11.7	2.4	5.0	2.2	5.0	5.3	15.7	1.7	4.3	9.2	11.6
男性60代 (n=1,113)	4.0	12.0	4.0	5.1	2.1	3.7	6.5	16.4	2.4	4.2	12.8	16.4
女性全体 (n=4,980)	4.5	11.1	4.0	6.7	1.9	5.8	7.5	17.6	2.1	4.1	6.5	12.1
女性20代 (n=756)	6.7	9.7	2.4	9.7	1.6	7.7	3.7	11.5	3.0	5.2	3.8	14.7
女性30代 (n=937)	4.2	13.4	2.8	7.2	1.7	7.3	9.2	10.0	1.4	3.0	4.6	10.1
女性40代 (n=1,162)	4.0	10.2	2.0	4.0	1.4	4.0	11.4	14.4	0.9	3.4	5.6	10.1
女性50代 (n=956)	4.0	13.0	4.5	5.2	1.5	4.5	4.8	23.8	2.6	4.3	6.2	13.2
女性60代 (n=1,169)	4.4	9.8	7.6	8.2	3.3	6.2	7.1	25.8	2.9	5.0	11.1	13.3

活動内容	安全な生活のための活動		自然や環境を守るための活動		災害に関係した活動		国際協力に関係した活動		神社、寺院、宗教に関する活動		その他	
	行った	行ったが以前に比べて、過去1年間とは	行った	行ったが以前に比べて、過去1年間とは	行った	行ったが以前に比べて、過去1年間とは	行った	行ったが以前に比べて、過去1年間とは	行った	行ったが以前に比べて、過去1年間とは	行った	行ったが以前に比べて、過去1年間とは
全体 (n=10,000)	5.0	9.7	3.3	7.6	1.8	5.8	1.5	3.2	2.8	4.1	0.3	0.2
男性全体 (n=5,020)	6.0	10.0	3.8	8.2	2.4	6.0	1.7	3.2	3.1	4.5	0.2	0.2
男性20代 (n=796)	5.3	7.3	4.3	9.3	2.9	6.0	2.9	4.5	3.5	4.0	0.1	0.3
男性30代 (n=966)	4.5	5.6	3.0	6.7	2.3	5.4	1.6	3.0	2.0	4.2	-	-
男性40代 (n=1,189)	5.0	8.2	3.6	6.9	2.4	5.2	1.7	2.7	2.9	4.4	0.2	0.2
男性50代 (n=956)	6.1	12.7	4.0	7.5	2.0	6.5	1.2	2.8	2.1	4.5	0.2	0.2
男性60代 (n=1,113)	8.7	15.3	4.3	10.9	2.6	6.7	1.3	3.1	4.9	5.3	0.4	0.3
女性全体 (n=4,980)	4.1	9.5	2.7	7.0	1.2	5.7	1.3	3.3	2.4	3.7	0.4	0.2
女性20代 (n=756)	2.0	6.3	1.9	7.8	0.8	4.8	1.2	4.5	1.9	4.0	-	0.4
女性30代 (n=937)	3.1	4.1	1.5	5.1	0.9	3.5	1.1	3.1	1.7	3.1	0.3	0.1
女性40代 (n=1,162)	4.4	7.8	1.6	5.3	0.9	5.1	1.0	2.3	2.2	2.6	0.2	-
女性50代 (n=956)	3.9	14.2	3.5	7.4	1.6	7.0	1.2	3.5	3.2	4.3	0.6	-
女性60代 (n=1,169)	6.2	13.7	4.7	9.2	1.8	7.6	2.1	3.3	3.0	4.8	0.7	0.3

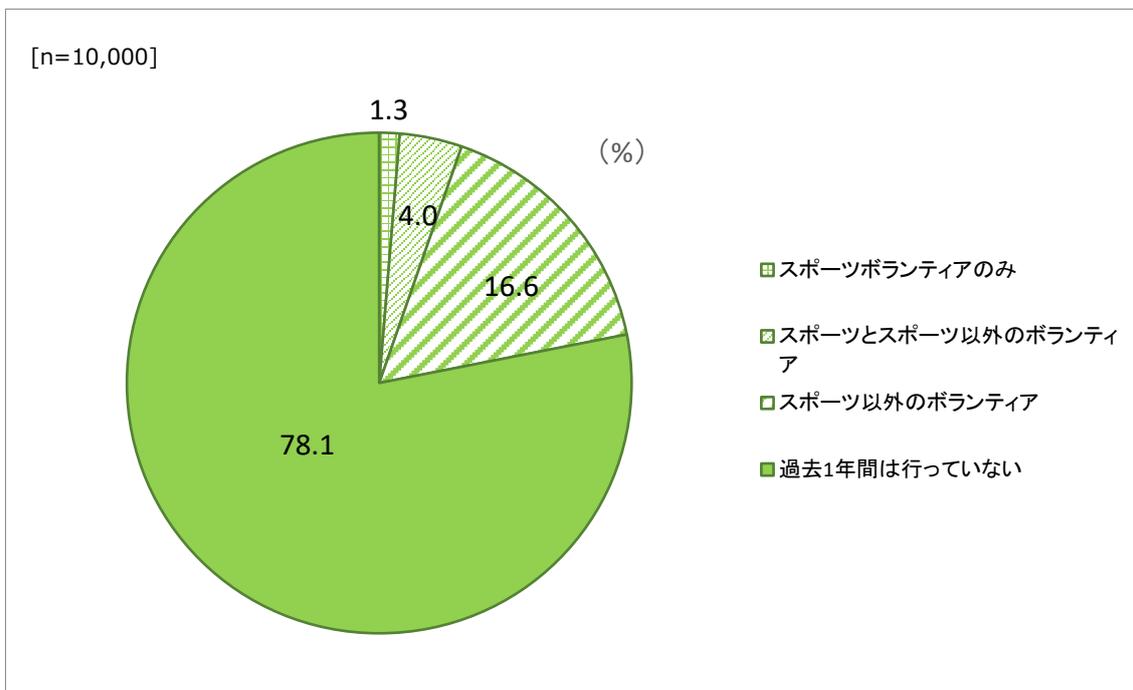
#### 4) ボランティアの実施状況：スポーツとスポーツ以外のボランティアの関係から

ボランティアの実施状況について、スポーツボランティア実施者、スポーツ以外のボランティア実施者とそれぞれの重複実施者の割合をみた。

##### (1) 過去1年間のボランティア実施状況

過去1年間のボランティア実施状況についてみると、「スポーツ以外のボランティアを実施」が16.6%、「スポーツボランティアとスポーツ以外のボランティアの両方を実施」が4.0%、「スポーツボランティアのみ実施」1.3%であった（図表7）。スポーツボランティア実施者の多くが、スポーツ以外のボランティアと「掛け持ち」して活動していることがわかる。

**図表7 過去1年間のボランティア実施状況：  
スポーツボランティアとスポーツ以外のボランティア**



過去 1 年間のボランティア実施状況を性別にみると、「スポーツボランティアのみ実施」と「スポーツボランティアとスポーツ以外のボランティアの両方を実施」は男性の割合が大きく、「スポーツ以外のボランティアを実施」は女性の割合が大きい（図表 8）。性・年代別にみると、男性では、「スポーツボランティアのみ実施」と「スポーツボランティアとスポーツ以外のボランティアの両方を実施」は 20 代が多く、「スポーツ以外のボランティアを実施」は 60 代が多くなっている。女性では、「スポーツボランティアのみ実施」は 20 代が多く、「スポーツボランティアとスポーツ以外のボランティアの両方を実施」と「スポーツ以外のボランティアを実施」は 60 代が多くなっている。

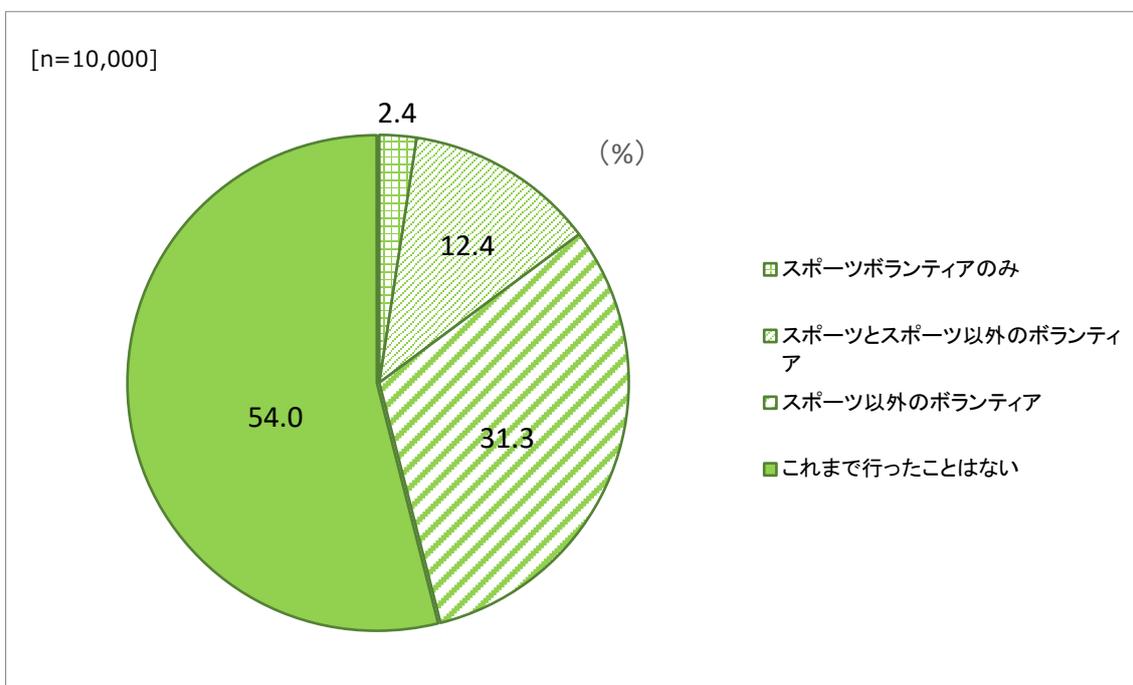
**図表 8 過去 1 年間のボランティア実施状況：**  
**スポーツボランティアとスポーツ以外のボランティア（性・年代別）**  
 (%)

	テ ス ィ ポ ー ア ー の ツ み ボ ラ ン	ラ ポ ス ン ー ポ テ ッ ィ 以 ツ ア 外 と の ス ポ	ボ ス ラ ポ ン ー テ ッ ィ 以 ア 外 の	行 過 っ 去 て 1 い 年 な 間 は
<b>全体 (n=10,000)</b>	<b>1.3</b>	<b>4.0</b>	<b>16.6</b>	<b>78.1</b>
<b>男性全体 (n=5,020)</b>	<b>1.7</b>	<b>5.4</b>	<b>15.7</b>	<b>77.3</b>
男性20代 (n=796)	2.4	8.5	13.3	75.8
男性30代 (n=966)	1.0	5.8	13.1	80.0
男性40代 (n=1,189)	2.3	4.9	15.5	77.4
男性50代 (n=956)	1.3	4.1	14.9	79.8
男性60代 (n=1,113)	1.5	4.3	20.4	73.8
<b>女性全体 (n=4,980)</b>	<b>0.9</b>	<b>2.6</b>	<b>17.6</b>	<b>78.8</b>
女性20代 (n=756)	1.7	2.8	12.6	82.9
女性30代 (n=937)	0.9	2.8	14.6	81.8
女性40代 (n=1,162)	0.7	2.3	18.3	78.7
女性50代 (n=956)	0.2	2.3	16.9	80.5
女性60代 (n=1,169)	1.4	3.0	23.1	72.5

(2) これまでのボランティア実施経験

過去 1 年間のボランティアに限定せずに、過去 1 年の実施を含めたこれまでのボランティア実施経験についてみると、「スポーツ以外のボランティアを実施」が 31.3%、「スポーツボランティアとスポーツ以外のボランティアの両方を実施」が 12.4%、「スポーツボランティアのみ実施」2.4%であった（図表 9）。スポーツボランティア経験者の 8 割以上にスポーツ以外のボランティアの経験がある。一方で、これまでにボランティアをまったく実施したことがない未経験者の割合は 54.0%となっており、半数近い成人にスポーツを含む何らかのボランティア経験があることがわかる。

**図表 9 これまでのボランティア実施経験：  
スポーツボランティアとスポーツ以外のボランティア**



過去1年の実施を含めたこれまでのボランティア実施経験を性別にみると、「スポーツボランティアのみ実施」と「スポーツボランティアとスポーツ以外のボランティアの両方を実施」は男性の割合が大きく、「スポーツ以外のボランティアを実施」は女性の割合が大きい（図表10）。特に、「スポーツ以外のボランティアを実施」は男性26.3%に対し、女性36.4%と約10ポイント女性の割合が大きくなっている。性・年代別にみると、男性では、「スポーツボランティアのみ実施」と「スポーツボランティアとスポーツ以外のボランティアの両方を実施」は20代が多く、「スポーツ以外のボランティアを実施」は年代が上がるにつれて多くなっている。女性では、「スポーツボランティアのみ実施」は20代が多く、「スポーツボランティアとスポーツ以外のボランティアの両方を実施」は20代と60代が多い一方、「スポーツ以外のボランティアを実施」は年代が上がるにつれて多くなっている。

**図表10 これまでのボランティア実施経験：**  
**スポーツボランティアとスポーツ以外のボランティア（性・年代別）**  
 (%)

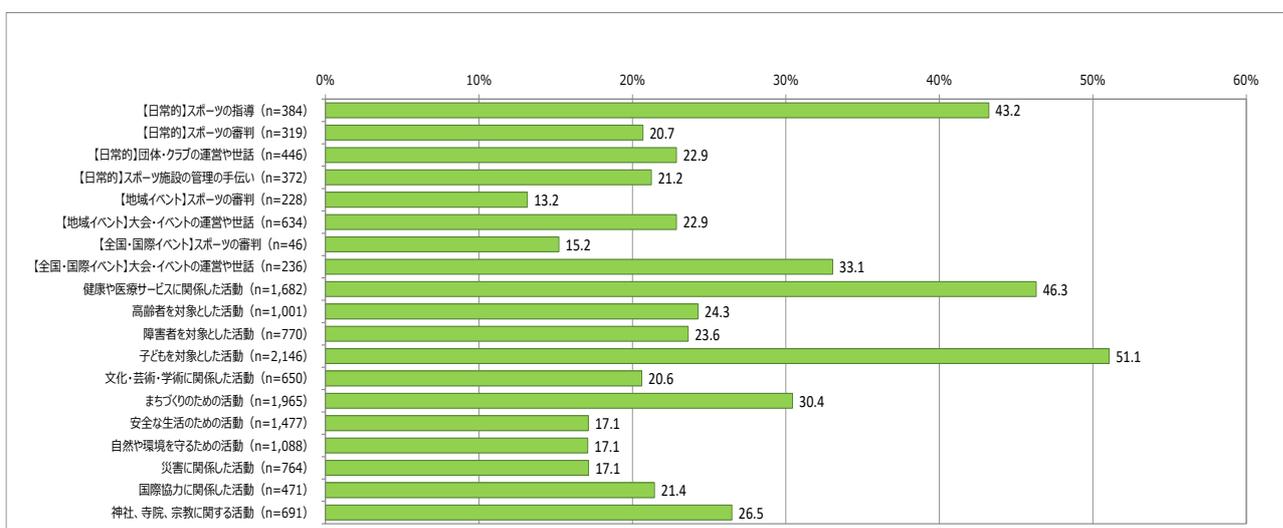
	テ ス ポ ー ト ボ ラ ン テ ィ ア の み ボ ラ ン	ラ ポ ー ト ボ ラ ン テ ィ ア 以 外 の ス ポ	ボ ス ポ ー ト ボ ラ ン テ ィ 以 外 の	こ こ と れ は ま で い っ た
<b>全体 (n=10,000)</b>	<b>2.4</b>	<b>12.4</b>	<b>31.3</b>	<b>54.0</b>
<b>男性全体 (n=5,020)</b>	<b>2.9</b>	<b>15.3</b>	<b>26.3</b>	<b>55.6</b>
男性20代 (n=796)	4.4	19.2	21.2	55.2
男性30代 (n=966)	2.6	12.5	20.7	64.2
男性40代 (n=1,189)	3.2	13.8	24.3	58.7
男性50代 (n=956)	2.2	15.2	29.3	53.3
男性60代 (n=1,113)	2.3	16.4	34.1	47.1
<b>女性全体 (n=4,980)</b>	<b>1.8</b>	<b>9.4</b>	<b>36.4</b>	<b>52.4</b>
女性20代 (n=756)	2.9	10.1	28.8	58.2
女性30代 (n=937)	2.2	8.4	31.6	57.7
女性40代 (n=1,162)	1.5	8.1	33.9	56.5
女性50代 (n=956)	0.4	8.7	41.8	49.1
女性60代 (n=1,169)	2.1	11.8	43.1	42.9

## 5) ボランティアをするきっかけとなった活動

スポーツボランティアやその他のボランティアの実施者および過去経験者に対し、「ボランティアをするきっかけとなった活動」についてたずねた。活動に参加した者の総数に対して「きっかけになった」と回答した者の割合をみると、最も多かったのは「子どもを対象とした活動」の51.1%で、次いで「健康や医療サービスに関係した活動」(46.3%)、「【日常的な活動】スポーツの指導」(43.2%)であった(図表11)。

**図表11 ボランティアをするきっかけとなった活動**

スポーツボランティアやその他のボランティアについて、あなたがボランティアをするきっかけとなった活動はどれですか。(1つ選択)

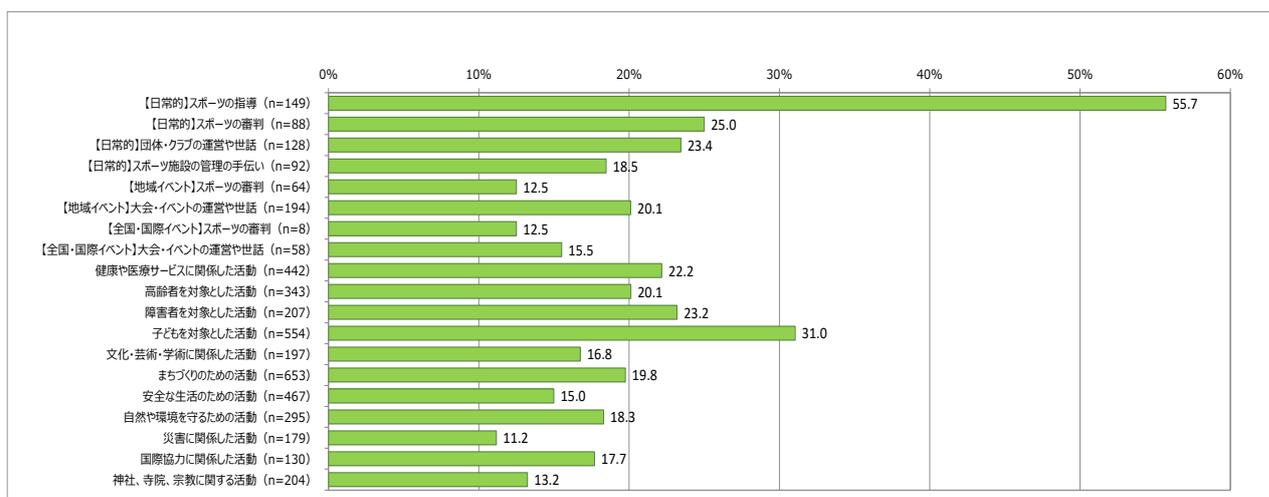


## 6) 最も大切なボランティア活動

スポーツボランティアやその他のボランティアの実施者に対し、「現在最も大切なボランティア活動」についてたずねた。「【日常的な活動】スポーツの指導」が55.7%と最も多く、次いで、「子どもを対象とした活動」(31.0%)、「【日常的な活動】スポーツの審判」(25.0%)であった(図表12)。前掲の図表3において実施率が高かった「まちづくりのための活動」、「健康や医療サービスに関係した活動」、「安全な生活のための活動」を「最も大切な活動」として挙げている回答者は15~20%程度にとどまっているのに対し、「スポーツの指導」が突出していることがわかる。「スポーツの指導」の平均実施回数は20.7回と頻度も高く、日常的に使命感や責任感をもって指導にあたっているスポーツボランティアが多いと考えられる。「スポーツの審判」については【全国・国際的イベント】と【地域のイベント】の審判がともに12.5%と低い値を示しているが、【日常的な活動】の審判は25.0%と高いことから、スポーツボランティアの機会の少なさが影響していると考えられる。

**図表12 最も大切なボランティア活動**

スポーツボランティアやその他のボランティアについて、現在あなたにとって最も大切な活動はどれですか。(1つ選択)



注) 2種類以上の活動を行った者に絞って集計した。

7) ラグビーワールドカップ 2019 および 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のボランティア活動の実施希望状況

2019 年に開催されるラグビーワールドカップや、2020 年に開催される東京オリンピック・パラリンピックでは、競技大会の開催地だけでなく、大会の事前合宿などを含めて、全国各地に海外から多くの選手や大会関係者が訪れ、それに伴い、多くのボランティアが活躍することが期待されている。これらの大会での、ボランティア活動の希望についてたずねた。

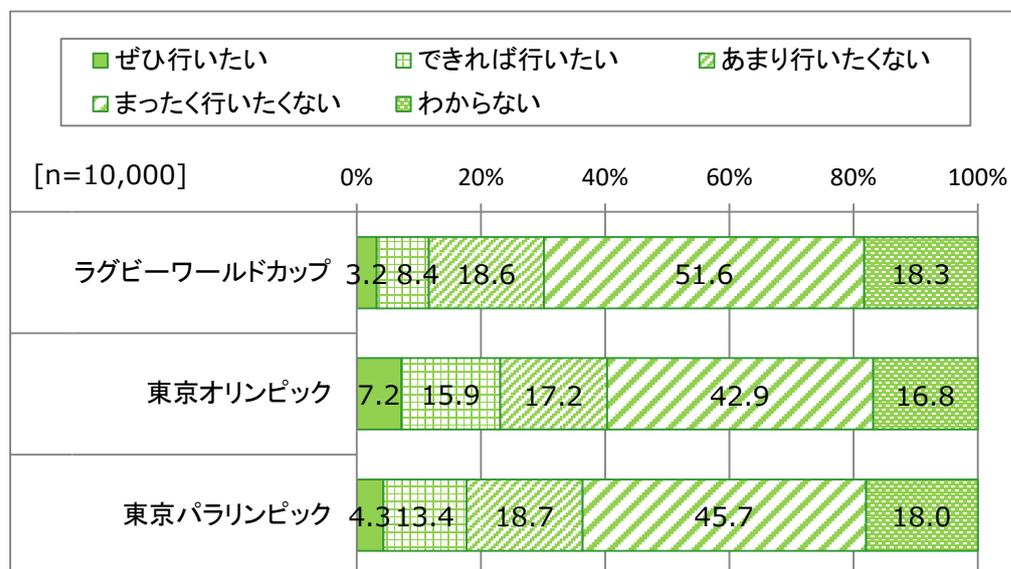
(1) 大会期間中の競技会場や周辺でのボランティア

大会期間中の競技会場や周辺でのボランティアについてたずねたところ、「ぜひ行いたい」と回答した者は、東京オリンピックが 7.2%と最も多く、次いで、東京パラリンピックの 4.3%、ラグビーワールドカップの 3.2%の順であった（図表 13）。また、「行いたい（「ぜひ行いたい」＋「できれば行いたい）」と回答した者の割合をみると、東京オリンピックで 23.1%、東京パラリンピックで 17.7%、ラグビーワールドカップで 11.6%であった。一方、活動を希望しない者も、東京オリンピック・パラリンピックで 6 割、ラグビーワールドカップで 7 割いることも確認できた。

図表 13 ラグビーワールドカップ 2019 および 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のボランティア活動の実施希望状況

【大会期間中の競技会場や周辺でのボランティア】

あなたは、これらの大会で、ボランティア活動を行いたいと思いますか。（それぞれ 1 つずつ選択）



性別にみると、男女ともに東京オリンピックが最も多く、男性で23.4%、女性で22.9%。次いで東京パラリンピックの男性16.8%、女性18.5%。ラグビーワールドカップは男性で14.0%、女性では1割に満たない9.1%であった（図表14,15,16）。全体の傾向をみると、東京オリンピックとラグビーワールドカップでは男性の希望者が、東京パラリンピックでは男性よりも女性の希望者が多いことがわかる。性・年代別にみると、「行きたい」者の割合は、男女ともにどの大会でも20代が最も多く、次いで30代、3番目に希望者が多いのが、男性では東京オリンピック、ラグビーワールドカップでは、50代、東京パラリンピック40代であった。女性では、どの大会でも60代であった。

図表14 ラグビーワールドカップ2019のボランティア活動の実施希望状況  
【大会期間中の競技会場や周辺でのボランティア】（性・年代別）

	ぜ ひ 行 い たい	で き れ ば 行 い たい	あ ま り 行 い た く な い	ま っ た く 行 い た く な い	わ か ら な い
全体(n=10,000)	3.2	8.4	18.6	51.6	18.3
男性全体(n=5,020)	4.1	9.9	18.3	50.7	16.9
男性20代(n=796)	8.5	10.8	17.6	41.2	21.9
男性30代(n=966)	4.9	10.6	16.6	49.5	18.5
男性40代(n=1,189)	3.4	8.5	20.0	51.6	16.4
男性50代(n=956)	2.9	11.0	17.1	52.9	16.1
男性60代(n=1,113)	2.2	9.3	19.7	55.6	13.2
女性全体(n=4,980)	2.2	6.9	18.8	52.5	19.6
女性20代(n=756)	3.7	8.3	17.6	48.1	22.2
女性30代(n=937)	3.0	6.7	17.2	53.0	20.1
女性40代(n=1,162)	1.8	6.5	18.1	52.8	20.9
女性50代(n=956)	1.3	6.4	18.6	54.2	19.6
女性60代(n=1,169)	1.7	6.9	21.9	53.1	16.3

図表 15 2020年東京オリンピックのボランティア活動の実施希望状況  
【大会期間中の競技会場や周辺でのボランティア】(性・年代別)

	ぜひ 行 いた い	でき れば 行 いた い	あ ま り 行 いた く な い	ま っ た く 行 いた く な い	わ か ら な い
全体(n=10,000)	<b>7.2</b>	<b>15.9</b>	<b>17.2</b>	<b>42.9</b>	<b>16.8</b>
男性全体(n=5,020)	<b>8.0</b>	<b>15.4</b>	<b>17.3</b>	<b>43.4</b>	<b>16.0</b>
男性20代(n=796)	11.4	17.7	15.5	35.9	19.5
男性30代(n=966)	9.2	14.4	16.1	43.8	16.5
男性40代(n=1,189)	7.3	15.2	17.6	44.2	15.7
男性50代(n=956)	7.2	16.3	16.7	43.8	15.9
男性60代(n=1,113)	5.8	14.0	19.6	47.2	13.5
女性全体(n=4,980)	<b>6.5</b>	<b>16.4</b>	<b>17.1</b>	<b>42.4</b>	<b>17.6</b>
女性20代(n=756)	8.2	17.6	14.8	40.7	18.7
女性30代(n=937)	8.2	15.8	14.5	42.7	18.8
女性40代(n=1,162)	6.3	14.4	17.1	44.1	18.2
女性50代(n=956)	5.3	16.9	18.0	40.6	19.1
女性60代(n=1,169)	5.1	17.9	19.9	43.1	13.9

図表 16 2020年東京パラリンピックのボランティア活動の実施希望状況  
【大会期間中の競技会場や周辺でのボランティア】(性・年代別)

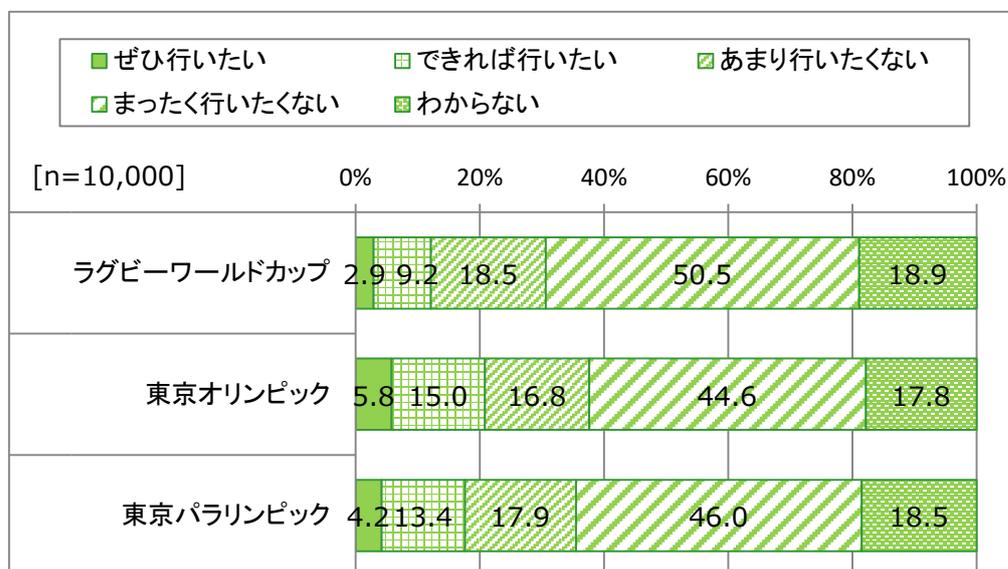
	ぜひ 行 いた い	でき れば 行 いた い	あ ま り 行 いた く な い	ま っ た く 行 いた く な い	わ か ら な い
全体(n=10,000)	<b>4.3</b>	<b>13.4</b>	<b>18.7</b>	<b>45.7</b>	<b>18.0</b>
男性全体(n=5,020)	<b>4.3</b>	<b>12.5</b>	<b>19.1</b>	<b>46.8</b>	<b>17.2</b>
男性20代(n=796)	8.3	13.9	18.6	38.4	20.7
男性30代(n=966)	4.6	13.4	16.5	47.5	18.1
男性40代(n=1,189)	3.8	12.6	19.8	47.3	16.5
男性50代(n=956)	3.7	10.8	19.7	48.6	17.3
男性60代(n=1,113)	2.5	12.1	20.6	50.2	14.6
女性全体(n=4,980)	<b>4.2</b>	<b>14.3</b>	<b>18.3</b>	<b>44.5</b>	<b>18.8</b>
女性20代(n=756)	5.0	14.8	17.2	42.9	20.1
女性30代(n=937)	4.6	14.7	15.5	44.7	20.5
女性40代(n=1,162)	4.5	12.7	17.5	46.3	19.1
女性50代(n=956)	3.0	14.1	18.7	44.1	20.0
女性60代(n=1,169)	3.8	15.5	21.6	43.8	15.2

(2) 住むまちやその近隣を訪れる代表チームの事前合宿のボランティア

住むまちやその近隣を訪れる代表チームの事前合宿のボランティアについてたずねたところ、活動を希望する（「行いたい」）者は、東京オリンピックで 20.8%、東京パラリンピックで 17.6%、ラグビーワールドカップで 12.1%であった（図表 17）。前述の「(1) 大会期間中」の結果と比較すると、東京オリンピックで 2.3 ポイント、ラグビーワールドカップで 0.5 ポイント低い。

**図表 17 ラグビーワールドカップ 2019 および 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のボランティア活動の実施希望状況**  
**【住むまちやその近隣を訪れる代表チームの事前合宿のボランティア】**

あなたは、これらの大会で、ボランティア活動を行いたいと思いますか。（それぞれ 1 つずつ選択）



性別にみると、男女ともに東京オリンピックが最も高く、男性で 20.4%、女性で 21.2%。次いで東京パラリンピックの男性 16.5%、女性 18.6%。ラグビーワールドカップは男性で 13.6%、女性で 10.6%であった（図表 18,19,20）。全体の傾向をみると、ラグビーワールドカップでは男性の希望者が女性よりも多いものの、東京オリンピックとパラリンピックは男性よりも女性の希望者が多かった。性・年代別にみると、「行いたい」者の割合は、男性はどの大会でも 20 代が最も多く、次いで東京パラリンピックとラグビーワールドカップでは 30 代、東京オリンピックでは 40 代の希望者が多かった。一方、女性は東京オリンピックとラグビーワールドカップでは、20 代の希望者が最も多いが、東京パラリンピックは 60 代が最も希望者が多かった。住むまちやその近隣での活動については、20 代や 30 代の女性に加えて、60 代の女性の活動希望が一定程度あることが確認できた。

**図表 18 ラグビーワールドカップ 2019 のボランティア活動の実施希望状況**  
**【住むまちやその近隣を訪れる代表チームの事前合宿のボランティア】** (%)

	ぜ ひ 行 い たい	で き れ ば 行 い たい	あ ま り 行 い た く な い	ま っ た く 行 い た く な い	わ か ら な い
<b>全体 (n=10,000)</b>	<b>2.9</b>	<b>9.2</b>	<b>18.5</b>	<b>50.5</b>	<b>18.9</b>
男性全体 (n=5,020)	3.5	10.1	18.7	50.0	17.6
男性20代 (n=796)	7.4	11.7	18.2	40.5	22.2
男性30代 (n=966)	4.0	11.1	16.8	49.7	18.4
男性40代 (n=1,189)	3.2	8.5	20.4	50.6	17.2
男性50代 (n=956)	2.5	9.9	17.9	52.4	17.3
男性60代 (n=1,113)	1.3	10.2	19.8	54.5	14.2
女性全体 (n=4,980)	<b>2.3</b>	<b>8.3</b>	<b>18.2</b>	<b>50.9</b>	<b>20.3</b>
女性20代 (n=756)	3.4	9.9	16.3	47.8	22.6
女性30代 (n=937)	2.6	8.0	16.6	52.3	20.5
女性40代 (n=1,162)	2.1	7.9	17.0	51.8	21.2
女性50代 (n=956)	2.0	7.5	18.9	50.7	20.8
女性60代 (n=1,169)	2.1	8.5	21.0	51.2	17.3

図表 19 2020 年東京オリンピックのボランティア活動の実施希望状況

【住むまちやその近隣に訪れる代表チームの事前合宿のボランティア】 (%)

	ぜひ 行 いた い	で き れ ば 行 いた い	あ ま り 行 いた く な い	ま っ た く 行 いた く な い	わ か ら な い
全体 (n=10,000)	5.8	15.0	16.8	44.6	17.8
男性全体 (n=5,020)	6.1	14.3	17.3	45.4	16.9
男性20代 (n=796)	10.2	15.3	16.7	37.3	20.5
男性30代 (n=966)	7.0	12.4	16.5	46.9	17.2
男性40代 (n=1,189)	6.2	14.5	17.2	45.5	16.6
男性50代 (n=956)	4.5	14.6	16.7	47.0	17.2
男性60代 (n=1,113)	3.7	14.6	19.0	48.6	14.2
女性全体 (n=4,980)	5.4	15.8	16.3	43.7	18.7
女性20代 (n=756)	6.6	15.9	14.8	42.5	20.2
女性30代 (n=937)	6.0	15.9	14.2	44.0	20.0
女性40代 (n=1,162)	5.4	14.3	15.8	45.0	19.4
女性50代 (n=956)	5.1	15.2	17.6	42.6	19.6
女性60代 (n=1,169)	4.4	17.8	18.6	43.9	15.4

図表 20 2020 年東京パラリンピックのボランティア活動の実施希望状況

【住むまちやその近隣に訪れる代表チームの事前合宿のボランティア】 (%)

	ぜひ 行 いた い	で き れ ば 行 いた い	あ ま り 行 いた く な い	ま っ た く 行 いた く な い	わ か ら な い
全体 (n=10,000)	4.2	13.4	17.9	46.0	18.5
男性全体 (n=5,020)	4.2	12.3	18.5	47.4	17.6
男性20代 (n=796)	8.3	13.6	17.8	39.3	21.0
男性30代 (n=966)	4.6	12.1	17.0	48.3	18.0
男性40代 (n=1,189)	4.2	12.2	19.2	47.7	16.7
男性50代 (n=956)	2.6	11.4	18.0	49.8	18.2
男性60代 (n=1,113)	2.2	12.3	20.1	50.0	15.4
女性全体 (n=4,980)	4.2	14.4	17.2	44.7	19.5
女性20代 (n=756)	5.3	14.0	16.1	43.1	21.4
女性30代 (n=937)	4.5	14.5	15.6	44.4	21.0
女性40代 (n=1,162)	4.2	13.0	16.2	46.6	20.0
女性50代 (n=956)	3.8	14.1	18.3	44.1	19.7
女性60代 (n=1,169)	3.7	16.3	19.4	44.3	16.3

8) ラグビーワールドカップ 2019 および 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のボランティア活動の実施希望理由

ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックのボランティアを「ぜひ行いたい」「できれば行いたい」と回答した者に、その理由をたずねた。

(1) 大会期間中の競技会場や周辺でのボランティア

大会期間中の競技会場や周辺でのボランティア活動を希望する理由としては、「日本で開催されるから」が最も多く、東京オリンピック 39.8%、東京パラリンピック 39.5%、ラグビーワールドカップ 25.8%であった（図表 21）。日本で開催されることへの特別感は、ラグビーワールドカップより、東京オリンピック・パラリンピックで期待されていることがわかる。2 番目の理由は「スポーツが好きだから」で、ラグビーワールドカップでの活動を希望する者が 25.2%と最も多く、次いで東京オリンピック 17.7%、東京パラリンピック 15.9%の順であった。ラグビーワールドカップでのボランティア活動を希望している者は、東京オリンピックやパラリンピックの活動希望者より、スポーツが好きな者の割合が多い特徴がみられた。3 番目は「選手のプレーをそばで見たいから」で、ラグビーワールドカップで 18.1%と最も多く、次いで東京オリンピック 16.2%、東京パラリンピック 13.5%であった。また、活動を希望する理由の上位 4 番目に「人の役に立ちたいから」があるが、東京パラリンピックでのみ 1 割を超えて 10.1%であった。一方、活動を希望する理由として低い割合の項目は「語学を活かしたいから」と「人とふれあいたいから」で、いずれの大会でも少なかった。

図表 21 ラグビーワールドカップ 2019 および 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のボランティア活動の実施希望理由

【大会期間中の競技会場や周辺でのボランティア】

あなたがボランティアを行いたい理由をお答えください。（それぞれ 1 つずつ選択）

	ラグビーワールドカップ n=1,158	東京オリンピック n=2,315	東京パラリンピック n=1,766
スポーツが好きだから	25.2%	17.7%	15.9%
選手のプレーをそばで見たいから	18.1%	16.2%	13.5%
日本で開催されるから	25.8%	39.8%	39.5%
住むまちやその近隣で開催されるから	6.8%	3.9%	4.1%
地域に貢献したいから	6.2%	4.4%	5.5%
国際交流したいから	5.3%	6.4%	5.6%
語学を活かしたいから	1.9%	2.2%	2.4%
人とふれあいたいから	3.4%	2.8%	3.2%
人の役に立ちたいから	7.3%	6.5%	10.1%
その他	-	-	0.2%

注) 10%以上の項目を網掛けで表示

(2) 住むまちやその近隣を訪れる代表チームの事前合宿のボランティア  
 住むまちやその近隣を訪れる代表チームの事前合宿でのボランティア活動の希望理由をみると、順位はほぼ、前述の「(1) 大会期間中」の結果とほぼ同様で、「人の役に立ちたいから」の理由も、東京パラリンピックのみ1割を超えていた(図表22)。なお、ラグビーワールドカップでの活動を希望する理由をみると、「住むまちやその近隣で開催されるから」や「地域に貢献したいから」も1割を超えており、ラグビーワールドカップが全国12会場で開催されることが影響していると推察される。

**図表 22 ラグビーワールドカップ 2019 および 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のボランティア活動の実施希望理由**  
**【住むまちやその近隣を訪れる代表チームの事前合宿のボランティア】**

あなたがボランティアを行いたい理由をお答えください。(それぞれ1つずつ選択)

	ラグビーワールドカップ n=1,214	東京オリンピック n=2,080	東京パラリンピック n=1,754
スポーツが好きだから	19.9%	16.5%	14.5%
選手のプレーをそばで見たいから	15.5%	13.9%	12.9%
日本で開催されるから	21.6%	31.1%	30.8%
住むまちやその近隣で開催されるから	11.1%	8.5%	8.9%
地域に貢献したいから	10.0%	8.3%	8.4%
国際交流したいから	5.6%	6.8%	6.2%
語学を活かしたいから	2.5%	2.7%	2.6%
人とふれあいたいから	4.3%	3.7%	4.0%
人の役に立ちたいから	9.5%	8.4%	11.7%
その他	-	-	0.2%

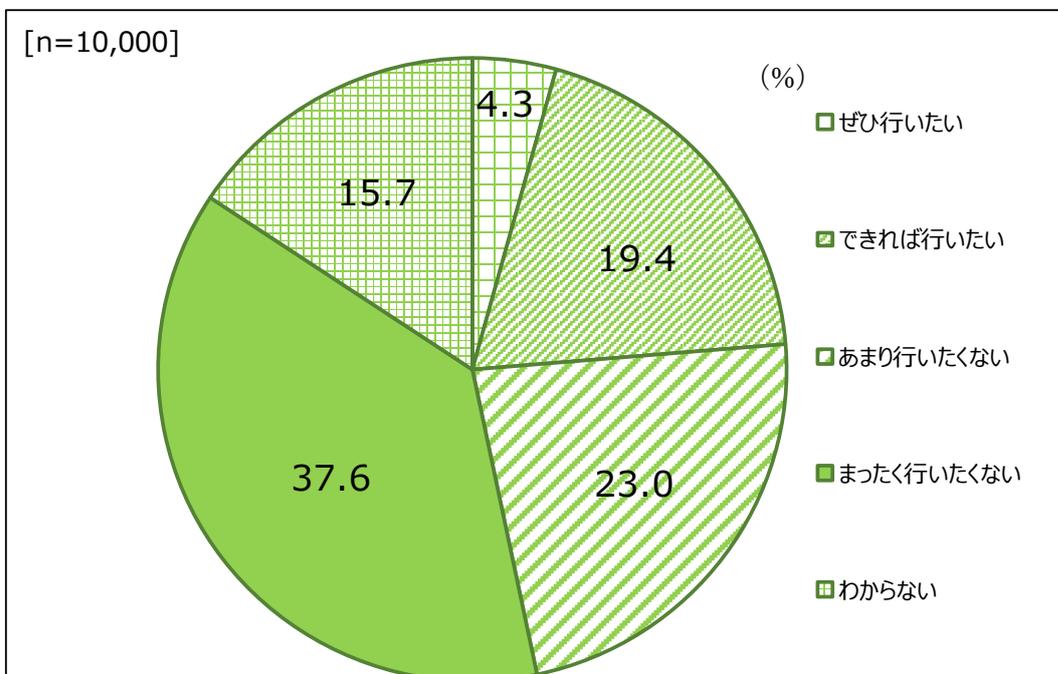
注) 10%以上の項目を網掛けで表示

## 9) スポーツボランティア実施希望状況

今後、スポーツにかかわるボランティア活動を行いたいと思うかをたずねたところ、「ぜひ行いたい」と回答した者が4.3%、「できれば行いたい」が19.4%で、「行いたい」と回答した者は「ぜひ行いたい」と「できれば行いたい」合わせて23.7%、回答者のうちの4人に1人の割合であった(図表23)。一方、「あまり行いたくない」23.0%、「まったく行いたくない」37.6%で、両者を合わせると「行いたくない」が60.6%と6割を占めていた。「わからない」と回答した者は15.7%であった。

**図表 23** スポーツボランティア実施希望状況

今後、あなたはスポーツにかかわるボランティア活動を行いたいと思いますか。(1つ選択)



性別にみると、男性のスポーツボランティア実施希望者（「行いたい」）が24.5%（「ぜひ行いたい」5.0%＋「できれば行いたい」19.5%）、女性では22.9%（「ぜひ行いたい」3.6%＋「できれば行いたい」19.3%）となっており、スポーツボランティア実施希望者は、女性よりも男性がわずかではあるが多くなっている（図表24）。性・年代別にみると、スポーツボランティア実施希望者は、男性では20代が最も多く、「ぜひ行いたい」10.7%、「できれば行いたい」19.7%を合わせて30.4%と、20代の男性の3割で実施を希望していることがわかる。次いで、30代の25.2%、60代の23.8%、50代の22.6%、40代の22.3%の順であった。女性でも20代の希望が最も多く、「ぜひ行いたい」5.0%、「できれば行いたい」21.1%を合わせて26.2%と、20代女性の4人に一人は活動を希望していることがわかった。次いで、60代が24.6%、30代の22.9%、40代21.0%、50代20.6%の順であった。一方、「まったく行いたくない」と回答した者の割合が、男性の30代、40代、50代と女性の30代で4割程度あったことも特記する。

**図表24 スポーツボランティア実施希望状況（性・年代別）**

今後、あなたはスポーツにかかわるボランティア活動を行いたいと思いますか。（1つ選択）

	ぜひ行いたい	できれば行いたい	あまり行いたくない	まったく行いたくない	わからない
全体 (n=10,000)	4.3	19.4	23.0	37.6	15.7
男性全体 (n=5,020)	5.0	19.5	22.5	38.5	14.5
男性20代 (n=796)	10.7	19.7	21.0	32.9	15.7
男性30代 (n=966)	5.2	20.0	19.2	40.4	15.3
男性40代 (n=1,189)	4.3	18.0	21.5	40.3	15.9
男性50代 (n=956)	3.7	18.9	22.6	39.7	15.1
男性60代 (n=1,113)	2.7	21.1	27.3	37.8	11.1
女性全体 (n=4,980)	3.6	19.3	23.5	36.8	16.8
女性20代 (n=756)	5.0	21.2	20.1	36.6	17.1
女性30代 (n=937)	4.8	18.1	19.3	39.6	18.1
女性40代 (n=1,162)	3.6	17.4	22.0	38.5	18.5
女性50代 (n=956)	2.4	18.2	26.2	34.3	18.9
女性60代 (n=1,169)	2.7	21.9	28.4	35.0	12.1

## 10) スポーツボランティア活動経験別にみるスポーツボランティア実施希望状況

スポーツボランティアの実施希望を過去のスポーツボランティア活動の経験別にみると、「これまでに行ったことがある」ボランティア経験者が、「これまで行ったことはない」未経験者よりも実施希望者が多いことがわかる（図表 25）。特に、「過去1年間に行った」スポーツボランティア実施者は、「ぜひ行いたい」と答えた者が31.8%と最も多く、「できれば行いたい」と回答した47.0%と合わせると8割近くの者が希望している。一方、「これまで行ったことはない」と回答した未経験者の実施希望率は16.4%と低く、逆に「まったく行いたくない」と回答した者が4割以上を占めていることがわかった。

**図表 25 スポーツボランティア実施希望状況（スポーツボランティア活動経験別）**

今後、あなたはスポーツにかかわるボランティア活動を行いたいと思いますか。（1つ選択）

(%)

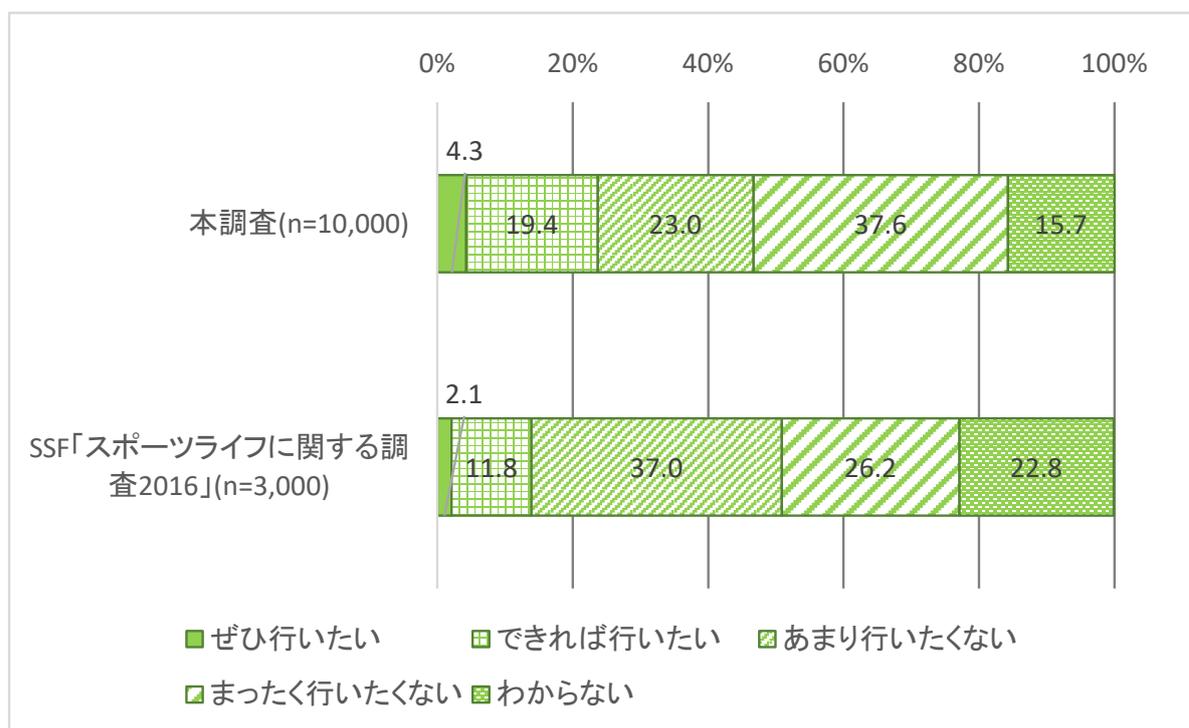
		ぜひ行いたい	できれば行いたい	あまり行いたくない	まったく行いたくない	わからない
全体 (n=10,000)		4.3	19.4	23.0	37.6	15.7
スポーツボランティア経験	これまでに行ったことがある (n=1,471)	18.0	47.9	18.0	5.8	10.3
	過去1年間で行った (n=532)	31.8	47.0	11.3	3.6	6.4
	以前に行ったことがあるが、過去1年間には行ってない (n=939)	10.2	48.5	21.8	7.0	12.5
	これまでに行ったことはない (n=8,529)	1.9	14.5	23.8	43.1	16.6

## 11) スポーツボランティア実施希望状況\_他の調査との比較

18歳以上を対象とした笹川スポーツ財団の全国調査「スポーツライフに関する調査」(2016)(以降、「SSF調査」)の結果と比較すると、スポーツボランティアの実施希望者は、本調査の23.7%（「ぜひ行いたい」4.3%+「できれば行いたい」19.4%）に対し、SSF調査では13.9%（「ぜひ行いたい」2.1%+「できれば行いたい」11.8%）であり、本調査が9.8ポイント高い結果となった（図表26）。

また、希望しない者も本調査の60.6%（「あまり行いたくない」23.0%+「まったく行いたくない」37.6%）に対し、SSF調査では63.2%（「あまり行いたくない」37.0%+「まったく行いたくない」26.2%）となっており、本調査が2.6ポイント低かった。この結果の違いは、本調査の実施年が2018年で、SSF調査より調査年が2年遅く、東京2020大会がより身近に感じられるようになったことや、調査方法の違い（本調査はインターネット調査、SSF調査は訪問留置法の質問紙調査）などが影響していると考えられる。

図表 26 スポーツボランティア実施希望状況\_他の調査との比較

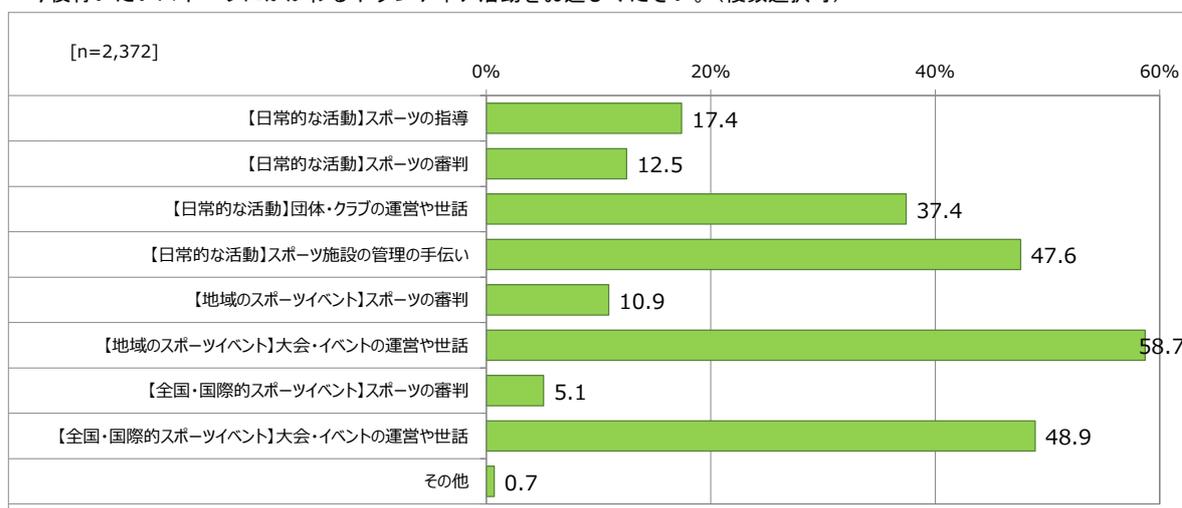


## 12) 今後希望するスポーツボランティアの活動内容

今後行いたいスポーツにかかわるボランティア活動の内容についてたずねたところ、「【地域のスポーツイベント】大会・イベントの運営や世話」が58.7%と最も多く、次いで「【全国・国際的スポーツイベント】大会・イベントの運営や世話」(48.9%)、「【日常的な活動】スポーツ施設の管理の手伝い」(47.6%)、「【日常的な活動】団体・クラブの運営や世話」(37.4%)の順であった(図表27)。地域のみならず、全国・国際的スポーツイベントへのボランティア実施希望者が多いことも、ラグビーワールドカップと東京2020大会に向けての期待の表れではないかと考えられる。

**図表27 今後希望するスポーツボランティアの活動内容**

今後行いたいスポーツにかかわるボランティア活動をお選びください。(複数選択可)



性別にみると、「【地域のスポーツイベント】大会・イベントの運営や世話」が男性 56.5%、女性 61.1%と男女ともに最も割合が高い。次いで男性では「【日常的な活動】スポーツ施設の管理の手伝い」(43.9%)、「【全国・国際的スポーツイベント】大会・イベントの運営や世話」(43.5%)、「【日常的な活動】団体・クラブの運営や世話」(38.7%)の順となる(図表 28)。女性では、次いで「【全国・国際的スポーツイベント】大会・イベントの運営や世話」(54.7%)、「【日常的な活動】スポーツ施設の管理の手伝い」(51.6%)、「【日常的な活動】団体・クラブの運営や世話」(36.0%)の順であった。なお、男女の上位 3 位までの活動内容については、全て女性の希望率が男性を上回っていた。

性・年代別にみると、最も実施希望者の多かった「【地域のスポーツイベント】大会・イベントの運営や世話」の割合は、若年層よりも男性の 60 代、女性の 50 代、60 代で 6 割を超えていた。また「【日常的な活動】スポーツの指導」では、男性の 20 代、30 代で 3 割を超えているものの、女性は 20 代、30 代でも 1 割程度と女性の希望者が少ない現状であることが確認できた。

**図表 28 今後希望するスポーツボランティアの活動内容（性・年代別）**

今後行いたいスポーツにかかわるボランティア活動をお選びください。(複数選択可)

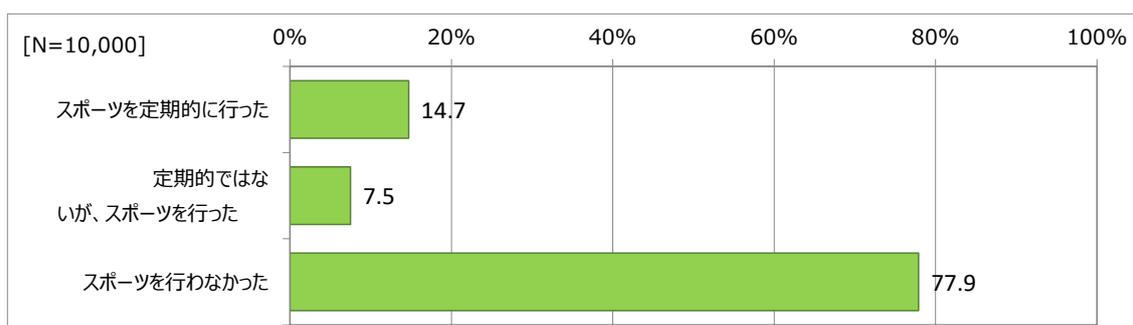
	の「日常的な活動」スポーツ指導	の「日常的な活動」スポーツ審判	ラ「日常的な活動」団体・クラブの運営や世話	施設「日常的な活動」スポーツの管理の手伝い	ト「地域のスポーツ」スポーツイベントの審判	やト「地域のスポーツ」大会・イベントの運営や世話	ベ「全国・国際的スポーツ」大会・国際的スポーツの審判	運ベ「全国・国際的スポーツ」大会・国際的スポーツの運営や世話	その他
全体(n=2,372)	17.4	12.5	37.4	47.6	10.9	58.7	5.1	48.9	0.7
男性全体(n=1,231)	26.7	18.7	38.7	43.9	16.9	56.5	7.2	43.5	0.6
男性20代(n=242)	38.4	27.7	38.0	38.0	26.4	46.3	12.4	40.1	0.8
男性30代(n=243)	33.3	21.4	36.6	46.1	15.6	48.1	8.6	39.9	-
男性40代(n=265)	25.3	18.1	41.5	46.4	16.2	58.5	8.7	45.3	0.4
男性50代(n=216)	19.4	15.7	33.3	45.4	15.7	59.3	4.6	44.0	0.5
男性60代(n=265)	17.4	10.9	42.6	43.4	10.9	69.4	1.9	47.9	1.1
女性全体(n=1,141)	7.4	5.9	36.0	51.6	4.4	61.1	2.8	54.7	0.8
女性20代(n=198)	11.6	9.6	37.9	55.6	7.6	55.6	5.1	53.5	0.5
女性30代(n=215)	10.2	13.0	35.3	50.7	7.9	55.3	5.1	55.3	0.5
女性40代(n=244)	6.1	4.1	36.1	52.9	2.5	59.0	2.5	51.2	0.8
女性50代(n=197)	5.6	2.5	34.5	46.7	3.0	65.0	0.5	56.3	0.5
女性60代(n=287)	4.5	1.7	36.2	51.9	2.1	68.3	1.4	56.8	1.4

### 13) スポーツボランティアとスポーツ実施、スポーツ観戦との関係

「ささえるスポーツ」といわれるスポーツボランティアが、「するスポーツ」（スポーツの実施）や「みるスポーツ」（スポーツの観戦）とどのように関連しているかを確認するため、過去1年間のスポーツ実施状況とスポーツ観戦状況をたずねた。過去1年間に「スポーツを定期的に行った」者は14.7%、「定期的ではないが、スポーツを行った」者は7.5%、「スポーツを行わなかった」者は77.9%であった。（図表29）。また、過去1年間に「直接会場で、定期的にスポーツを観戦した」者は7.3%「定期的ではないが、直接会場でスポーツを観戦した」者は9.6%、「直接スポーツの観戦をしなかった」者は83.1%であった（図表30）。

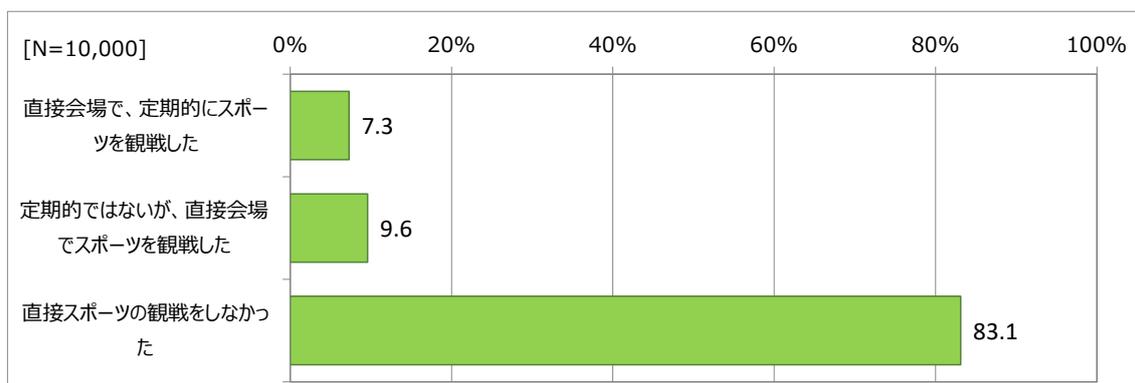
**図表 29 スポーツとの関わり（スポーツ実施状況）**

過去1年間のあなたとスポーツとの関わりについて、あてはまるものをお選びください。



**図表 30 スポーツとの関わり（スポーツ観戦状況）**

過去1年間のあなたとスポーツとの関わりについて、あてはまるものをお選びください。



続いて、過去1年間にスポーツボランティアを「行った」と回答した者（スポーツボランティア実施者。全体の5.3%）に絞って、スポーツ実施状況別、スポーツ観戦状況別にみた。

スポーツ実施状況別にみると、「定期的にスポーツを行った」と回答した者のスポーツボランティア実施率は16.5%であった（図表31）。また、「定期的ではないが、スポーツを行った」者では9.0%、「スポーツを行わなかった」者では2.9%となっており、スポーツを実施する者ほどスポーツボランティア実施率が高くなっている。スポーツ観戦状況別にみると、「直接会場で、定期的にスポーツを観戦した」者のスポーツボランティア実施率は21.6%、「定期的ではないが、直接会場でスポーツを観戦した」者では9.7%、「直接スポーツの観戦をしなかった」者では3.4%で、スポーツを観戦する者ほどスポーツボランティア実施率が高かった。これらの結果から、スポーツボランティア実施者は、スポーツ実施者よりスポーツ観戦者に多いことがわかる。

また、スポーツ実施状況とスポーツ観戦状況を合わせて、スポーツボランティア実施率をみると、「定期的にスポーツを行った」者で、同時に「直接会場で定期的にスポーツを観戦した」者のスポーツボランティア実施率は33.4%（374サンプル中125サンプル）と最も高かった。一方、「スポーツを行わなかった」者で、同時に「直接スポーツの観戦をしなかった」者のスポーツボランティア実施率は2.7%と最も低かった。スポーツをする者、みる者ほど、スポーツボランティアする者が多いことが確認された。

**図表 31 スポーツ実施状況・スポーツ観戦状況別にみるスポーツボランティア実施率**  
(%)

	直接会場で、定期的にスポーツを観戦した (n=732)	定期的ではないが、直接会場でスポーツを観戦した (n=961)	直接スポーツの観戦をしなかった (n=8,307)	小計
スポーツを定期的に行った (n=1,465)	33.4	18.4	8.3	16.5
定期的ではないが、スポーツを行った (n=747)	16.3	12.2	5.8	9.0
スポーツを行わなかった (n=7,788)	6.8	3.6	2.7	2.9
小計	21.6	9.7	3.4	<b>5.3</b>

#### 14) 無自覚的スポーツボランティア実施状況

過去1年間、スポーツボランティアを「以前に行ったことがあるが、過去1年間には行っていない」と回答した者（スポーツボランティア過去経験者）と、「これまでに行ったことはない」と回答した者（スポーツボランティア未経験者）に対し、「スポーツイベントやスポーツ行事」での受付や案内、飲料や食事の準備など、また、「本人や子どもが所属するスポーツ団体やクラブ等」での練習や大会等での送迎、活動場所の準備や手配などの活動の有無についてたずねた。図表 32,33 および図表 34,35 に示すこれらの活動は、スポーツボランティアとみなして問題のない活動といえる。本項では、これらが無償または実費程度の報酬で行った者について、スポーツボランティアを「過去1年間には行ってない」、「これまでに行ったことはない」と回答しながらも、それをボランティアと認識せずに実施した「無自覚的スポーツボランティア」と定義する。

(1) スポーツボランティア過去経験者の無自覚的スポーツボランティア実施状況

スポーツボランティア過去経験者について、スポーツイベントやスポーツ行事での活動状況をみると、「会場の準備や撤収をしたことがある」が36.7%で最も多く、以下、「受付や案内をしたことがある」(31.8%)、「飲料や食事の準備をしたことがある」(27.8%)の順となっている(図表32)。また、本人や子どもが所属するスポーツ団体やクラブ等での活動状況では、「夏祭り等の行事の準備や片付け、事務作業をしたことがある」が24.8%と最も多く、以下「練習や大会等で、自分や自分の子ども以外のメンバーの送迎をしたことがある」(22.0%)、「練習や大会等で、自分や自分の子ども以外のために飲料や弁当の準備をしたことがある」(19.9%)が続く(図表33)。全体では、スポーツボランティア過去経験者の7割がこれらのいずれかの活動を少なくともひとつは行っていた。

**図表 32 スポーツボランティア過去経験者の無自覚的スポーツボランティア実施状況（スポーツイベントやスポーツ行事での活動）**

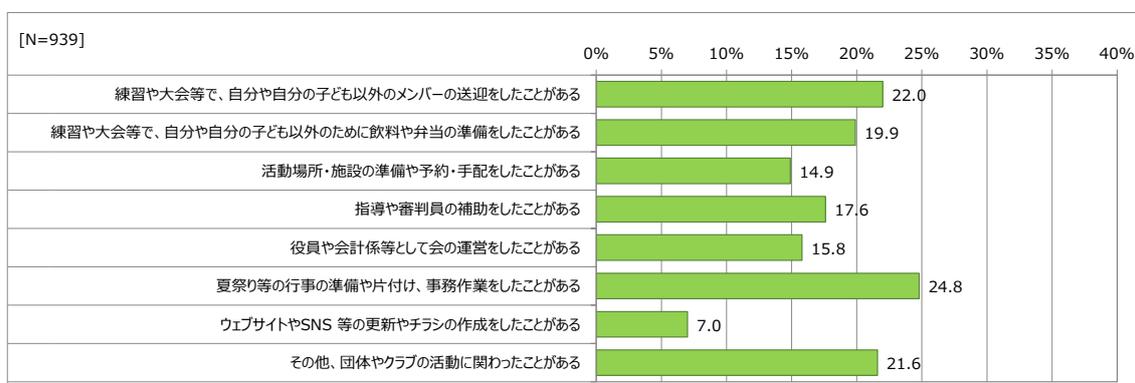
あなたは、過去1年間に、以下のような活動が無償または実費程度の報酬で行ったことがありますか。(それぞれ1つずつ選択)



注) スポーツボランティア過去経験者：過去1年間にスポーツボランティアを行っていないが、それ以前に行ったことがあると回答した者

**図表 33 スポーツボランティア過去経験者の無自覚的スポーツボランティア実施状況（自身や子どもが所属するスポーツ団体やクラブ等での活動）**

あなたは、過去1年間に、以下のような活動が無償または実費程度の報酬で行ったことがありますか。(それぞれ1つずつ選択)



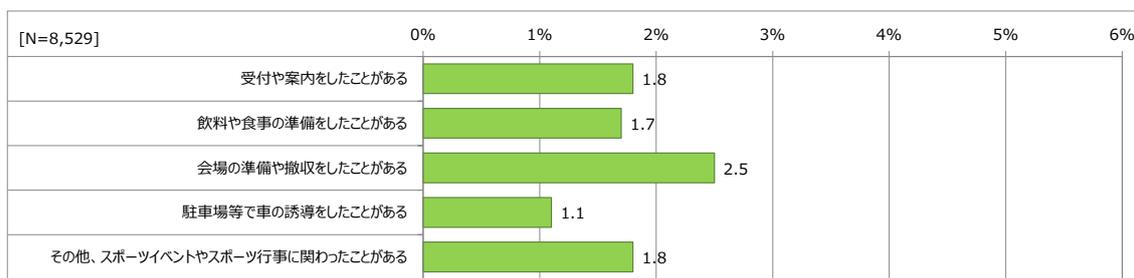
注) スポーツボランティア過去経験者：過去1年間にスポーツボランティアを行っていないが、それ以前に行ったことがあると回答した者

## (2) スポーツボランティア未経験者の無自覚的スポーツボランティア実施状況

スポーツボランティア未経験者について、スポーツイベントやスポーツ行事での活動状況をみると、「会場の準備や撤収をしたことがある」が2.5%で最も多く、以下、「受付や案内をしたことがある」(1.8%)、「飲料や食事の準備をしたことがある」(1.7%)の順となっている(図表34)。また、本人や子どもが所属するスポーツ団体やクラブ等での活動状況では、「練習や大会等で、自分や自分の子ども以外のメンバーの送迎をしたことがある」が5.5%と最も多く、以下「夏祭り等の行事の準備や片付け、事務作業をしたことがある」(5.0%)、「練習や大会等で、自分や自分の子ども以外のために飲料や弁当の準備をしたことがある」(4.1%)が続く(図表35)。スポーツボランティア未経験者では、スポーツイベントやスポーツ行事での活動、または本人や子どもが所属するスポーツ団体やクラブ等での活動を少なくともひとつ以上行っているのは13.2%であった。図表32~35をみると、スポーツボランティア未経験者の無自覚的スポーツボランティアの実施率は、スポーツボランティア経験者のそれを大きく下回ることがわかる。

**図表 34 スポーツボランティア未経験者の無自覚的スポーツボランティア実施状況  
(スポーツイベントやスポーツ行事での活動)**

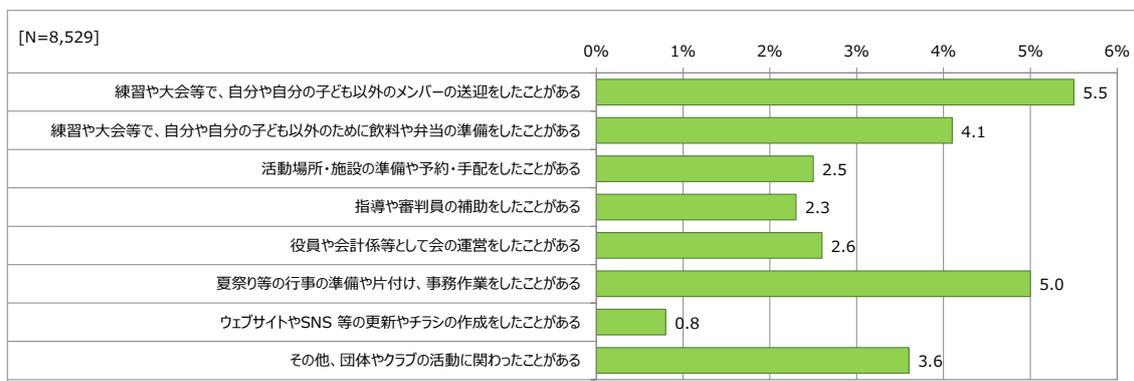
あなたは、過去1年間に、以下のような活動を無償または実費程度の報酬で行ったことがありますか。(それぞれ1つずつ選択)



注) スポーツボランティア未経験者：これまでにスポーツボランティアを行ったことがないと回答した者

**図表 35 スポーツボランティア未経験者の無自覚的スポーツボランティア実施状況  
(自身や子どもが所属するスポーツ団体やクラブ等での活動)**

あなたは、過去1年間に、以下のような活動を無償または実費程度の報酬で行ったことがありますか。(それぞれ1つずつ選択)



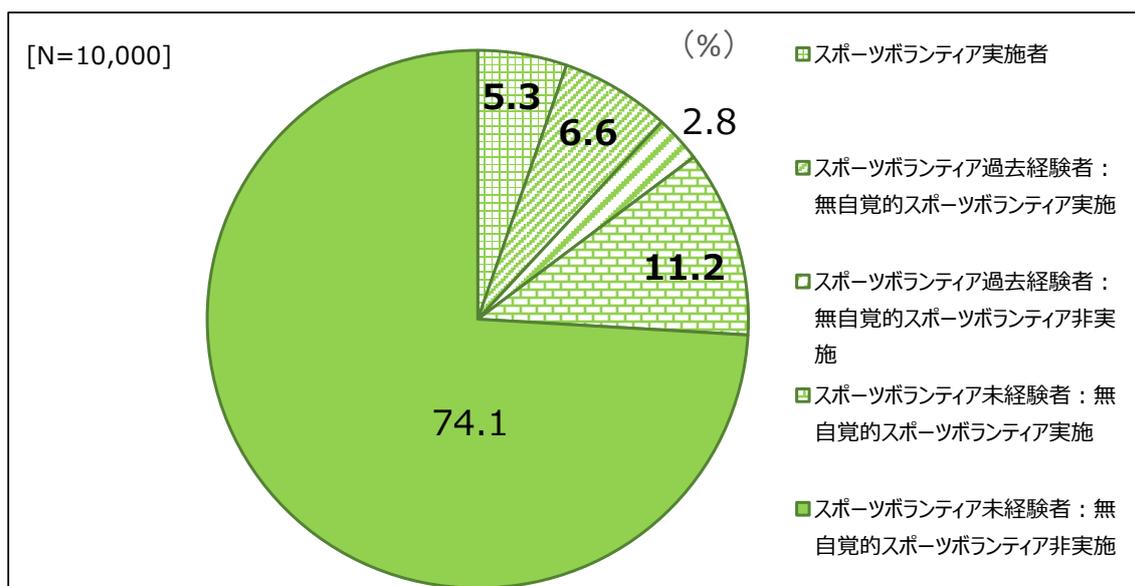
注) スポーツボランティア未経験者：これまでにスポーツボランティアを行ったことがないと回答した者

### 15) 無自覚的ボランティアを含むスポーツボランティア実施状況

スポーツボランティアを「以前に行ったことがあるが、過去1年間には行ってない」者（スポーツボランティア過去経験者）と「これまでに行ったことはない」者（スポーツボランティア未経験者）を、無自覚的スポーツボランティア実施の有無別にそれぞれ2つに分け、スポーツボランティアの実施状況をより詳細にみた（図表36）。

無自覚的にスポーツボランティアを実施していたスポーツボランティア過去経験者は全体の6.6%、ボランティア未経験者では11.2%であった。これら無自覚ボランティアとスポーツボランティア実施者（5.3%）を合わせると、過去1年間に何らかのスポーツボランティアを実施した者は23.1%となる。無自覚的スポーツボランティア実施者の存在は、多くの人が、スポーツをささえる様々な活動を、スポーツボランティアとしてイメージできていないことを示唆している。

図表 36 無自覚的ボランティアを含む過去1年間のスポーツボランティア実施状況



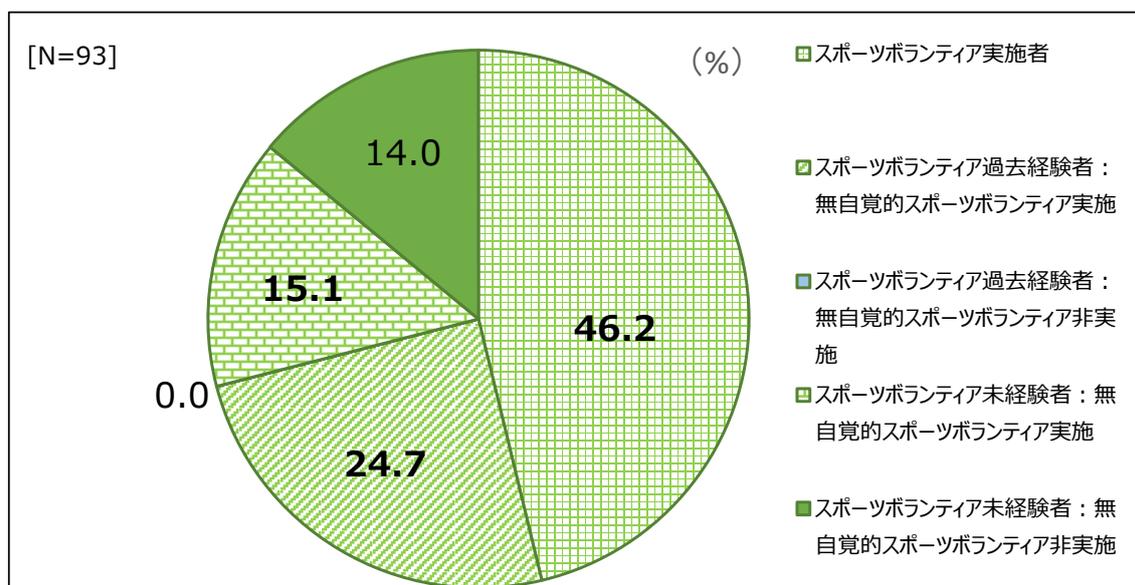
16) スポーツ組織所属者の無自覚的ボランティアを含むスポーツボランティア実施状況

体育協会および協会に加盟する競技団体やスポーツ少年団への所属状況についてたずね、スポーツボランティアとの関連をみた。なお、スポーツ少年団は、指導者や所属する子どもの保護者としての関わりを想定している。「体育協会（加盟競技団体含む）」「スポーツ少年団」に所属している回答者は、それぞれ、93、117 と全体の1%程度であった。

過去1年間にスポーツボランティアを「行った」と回答したスポーツボランティア実施者は、体育協会所属が46.2%、スポーツ少年団所属が47.9%で、全体（5.3%）の約9倍であった（図表37,38）。

また、スポーツボランティアを「以前に行ったことがあるが、過去1年間は行っていない」者（スポーツボランティア経験者）と「これまでに行ったことはない」者（スポーツボランティア未経験者）に占める無自覚的スポーツボランティア実施者の割合をみても、体育協会所属、スポーツ少年団所属のいずれも全体（経験者6.6%、未経験者11.2%）を上回り、無自覚的ボランティアを含めた過去1年間のスポーツボランティア実施率は、体育協会所属が86.0%、スポーツ少年団所属が87.2%と全体（23.1%）の約3.7倍であった。体育協会やスポーツ少年団など、地域のスポーツに関わる組織に所属する人のほとんどが、何らかのスポーツボランティア活動を行っていることが確認された。

図表 37 体育協会（加盟競技団体含む）に所属する者の無自覚的ボランティアを含む過去1年間のスポーツボランティア実施状況



図表 38 スポーツ少年団に所属する者の無自覚的ボランティアを含む過去 1 年間の  
スポーツボランティア実施状況

